



28 号人件製型像(小竹H90)
28 号人骨型像レプリカ(小竹H90)
富山高岡蔵文化財センター掲載

平成27年度 大阪府立弥生文化博物館 秋季特別展

海をみつめた縄文人

ほうじょうづがた

— 放生津潟とヒスイ海岸 —

2015 10.10(土) — 12.6(日)

観覧時間 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

入館料 一般600円、65歳以上・高年生400円

- *小学生以下、障がい者手帳所持者の方とそのお誘い方は無料。
- *20名以上の団体は予約可。
- *10/24(土)、10/25(日)は、お昼の働きまつりのため入館無料。
- *11/14(土)、11/15(日)は、開館文化の日のため入館無料。

休館日 毎週月曜日(ただし10/12、11/23は閉館)、
10/13(火)、11/24(水)

主催 大阪府立弥生文化博物館・毎日新聞社

特別協力 富山県縄文文化財センター・富山市教育委員会

後援 泉大津市・泉大津市教育委員会
和泉市・和泉市教育委員会

協賛 株式会社国際交流サービス



大阪府立弥生文化博物館
Museum of Yayoi Culture



海をみつめた 縄文人

— 放生津潟とヒスイ海岸 —

日本海に面した富山県では、縄文時代前期より貝塚が形成され、潟湖を舞台とした縄文人のくらしが営まれてきました。北陸新幹線の開通工事に伴って発掘された小竹貝塚では、列島最多となる90体以上もの前期人骨がみつかりました。性別や年齢によって異なる副葬品や埋葬のあり方が明らかとなったほか、人骨の形態分析やDNA解析により日本人のルーツを解明する上での新知見が得られています。

本展では小竹貝塚のほか「潟湖を望む丘のムラ」北沢遺跡と、「ヒスイ海岸に栄えた石工のムラ」境A遺跡を取り上げ、北陸の縄文文化の高い技術や芸術性にふれるとともに、日本海を舞台に躍動する縄文人のすがたに迫ります。

日本海に躍動する 縄文人

第1章 潟湖のくらし

貝塚から発掘されたのは、約6000年前、日本海に生きた縄文人のくらしでした。狩る・釣る・採る・食べる・作る・交わる。当時の姿のまま残された縄文人たちの道具から、北陸の縄文文化を探ります。

第2章 いま甦る縄文人

貝塚を掘った人々は、自らもその中で永い暮らしをつきました。発掘された90体以上もの縄文人骨は、貝塚を掘った人々のすがただけでなく、その思いまでを物語る。日本人のルーツに迫る科学的分析の成果にも注目します。

第3章 潟湖を望む丘のムラ

潟湖を望む丘のムラ「北沢遺跡」。土器をはじめとした「まつりの道具」や、地盤めに使われたと考えられるクワの骨がみつかりました。豊かな祝儀の遺物から、縄文人のこころに迫ってみましょう。

第4章 ヒスイ海岸の縄文人

遠く送るような華やかな宝石「ヒスイ」。その美しさは縄文時代から人々を魅了してきました。富山県東部の「ヒスイ海岸」では、石工のムラが栄え、列島各地との交通のもと、豊かな精神文化が結実します。



図録(環A遺跡) 弥生文化財
富山県歴史文化財センター所蔵

Access



五箇川駅「徳太山」駅下車西へ約600m
南富山駅「松ノ丸」駅下車東へ約1,500m

【大阪方面からお越しの場合】
JR天王寺駅から和歌山方向(新和線)快速電車にご乗車になり、環A(はつり)駅で普通電車にお乗換えください。大阪駅からお越しの場合は、「南空・和歌山線快速」をご利用になると便利です。環Aから3駅目が徳太山(はつり)駅です。



国道26号「池上町」交差点南西角
P 普通車72台(無料)

車庫呼と出会う博物館



大阪府立弥生文化博物館
Museum of Yayoi Culture

〒594-0083 大阪府和泉市池上町4-8-27
TEL 0725-46-2162 <http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/>



考古学セミナー(講演会)

時 間：午後2時から午後4時
参加費：無料(入館料が必要です)
定 員：各回とも170名
【当日先着順/開演時より整理券配付・開始30分前から受付】

第1回 10月24日(土)

「埋もれた海と縄文人」

公益財団法人富山県文化振興財団 主任 町田賢一氏

第2回 11月7日(土)

「よみがえる縄文人—縄文人骨が語るもの—」

独立行政法人国立科学博物館人類研究部 研究主幹 坂上和弘氏

第3回 11月15日(日)

「ヒスイ海岸の縄文人」

富山県歴史文化財センター 元所長 山本正敏氏

第4回 12月5日(土)

「縄文人を支えた食—見えてきた生業戦略—」

京都大学大学院総合生存学部 特定教授 泉 拓良氏

学芸員による展示解説

担当学芸員が、展示の見どころをたっぷりと解説します！
10月24日(土)、11月3日(火祝)、11月7日(土)、
11月15日(日)、12月5日(土)
時 間：午前11時～(約1時間)
参加費：無料(入館料が必要です)

文化の日 特別講演会

時 間：午後2時から午後4時
参加費：無料(入館料が必要) 定員：170名
【当日先着順/開演時より整理券配付・開始30分前から受付】
11月3日(火祝)

「縄文創作はあったのか？」

東京大学大学院人文社会系研究科 教授 設楽博己氏

関連ワークショップ・イベント

【遠期ワークショップ】

縄文人の技術に挑め！「ヒスイの穿孔体験」

竹の穂と金剛砂で、モース硬度7のヒスイに挑みます。はたして会期中に孔をあけることができるでしょうか？

【ミニワークショップ】

土器パズルで比べよう！

縄文土器と弥生土器

縄文土器と弥生土器、どんな違いがあるのかな？よく観察して、土器のカケラたちを組み合わせよう！

10月10日(土)、10月24日(土)、

11月14日(土)、11月28日(土)

時間：午後1時～午後3時

【関西文化の日ワークショップ】

11月14日(土)・15日(日)

時間：午前10時～午後3時 ※入館無料

縄文人に挑戦！「ベンケイガイの貝輪製作」

縄文人に挑戦！「狩猟体験」

弥生人に挑戦！「稲漉り・火起こし・土器炊飯」

ほか
関西文化の日は、このほかたくさん体験メニューを企画しています。詳しくはホームページをご覧ください。

和歌山県立博物館(和歌山県)
富山県歴史文化財センター所蔵

【連携ワークショップ】

①縄文人の技術に挑め！

「石器作りワークショップ」

本物の石材(サヌカイト)を用いて、石器を製作します。縄文人の技に挑戦しよう！

日 時：10月17日(土) 午前10時～
所要時間約5時間(昼食は各自で用意ください)

場 所：大阪府立弥生文化博物館

※石器製作は別室で行います。(雨天決行)

対 象：小学生以上/定員20名

(小学生は保護者同伴)

申込み方法：往復はがき(1名様につき1枚)に、①氏名②住所③年齢④電話番号をご記入のうえ、下記までお送りください。(参加者が小学生の場合、保護者の方の名前もご記入ください)

応募先：〒594-0083 和泉市池上町4-8-27

大阪府立弥生文化博物館

石器作りワークショップ係

※10月3日(土)までに必要。申込み多数の場合は抽選とします。

講師：縄文の風工房(上山剛平氏)

共催：きしわだ自然資料館

②きしわだ自然資料館「チリモンを探せ！」

きしわだ自然資料館の人気企画が弥生博へやってくる！

「チリモン」を探して集めよう！

日時：10月24日(土) 午前10時～午後3時

協力：きしわだ自然資料館

大阪府立弥生文化博物館とコラボする 三田美術館世界遺産写真展
「アジアの遺産Ⅱ」
会場：三田美術館(兵庫県)
期間：10月10日～11月10日

会期：11月25日(水)～12月5日(土)
会場：大阪府立弥生文化博物館 エントランスホール
時間：午前9時30分～午後5時(入館料4時30分まで) ※最終日は午後4時まで